

青森県人づくりビジョン

令和6年9月

《 目 次 》

I 策定の考え方.....	1
1 策定の目的.....	1
2 ビジョンの役割.....	1
3 ビジョンの推進等.....	2
II ビジョンの体系.....	2
1 めざす人財像（ビジョン）.....	2
2 人づくりの基本的な考え方.....	3
3 重点的に育成の対象とする人財.....	3
4 使命（ミッション）.....	5
5 取組の方向性（バリュー）.....	6
III 主な取組.....	8

I 策定の考え方

1 策定の目的

デジタル技術の加速度的な発展により生成AIが飛躍的な進化を重ね、文章、画像、音声、動画など様々なコンテンツが、短時間に一定のレベルで作成できるようになっているほか、ロボットが人間に替わって作業を行うなど、様々な分野で実用化が進んでいます。

また、人口減少、少子化・高齢化の進行、グローバル化の進展、価値観の多様化など、私たちを取り巻く社会経済状況は時々刻々と変化しています。

本県も、新たな県政運営の基本方針となる青森県基本計画「青森新時代」への架け橋（以下「基本計画」）を策定し、2040年のめざす姿を「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」として、新しい青森県づくりに進み始めました。

こうした時代の変わり目にあっては、従来の常識や考え方にとらわれず、「青森県を大きく変える」というチャレンジングマインドと、新たな時代に適応した知識やスキルを身に付けた人財¹の育成が必要です。

県ではこれまでも「あおもりを愛する人づくり戦略」（平成19年9月策定、平成30年4月改定）に基づき、「あおもりの未来をつくる人財の育成」に向けて、中学生を対象にした「未来ひらめき創造塾」、高校生を対象にした「先輩から後輩への夢相伝講座」、「あおもりの今をつくる人財の育成」に向けて、若手社会人等を対象にした「あおもり立志挑戦塾」「あおもりグローバルアカデミー」等の取組を重点的かつ継続的に進めてきたところです。これまでの取組をきっかけに、県内各地で自己変革や地域課題の解決など新たなチャレンジを始める人財が着実に増えるとともに、人的ネットワークの構築により持続的な活動に発展するなど、その成果を着実に積み上げてきたところですが、本県を取り巻く大きな環境の変化に対応し、青森大変革を進めていくため、人づくり施策の方向性を示す「青森県人づくりビジョン」を新たに策定するものです。

2 ビジョンの役割

本ビジョンは、基本計画の人づくり施策に係る個別計画として位置づけます。基本計画に掲げるめざす姿の実現に向けて、各分野における人財育成の方向性を、めざす人財像（ビジョン²）、基本的な考え方に基づく使命（ミッション²）、取組の方向性（バリュー²）の観点から、体系的に整理したものであり、関係部局が共有し、人財育成について

1 人財：青森県では、人は青森県にとっての『財（たから）』であるという基本的考えから、「人」「人材」などを「人財」と表しています。

2 ビジョン、ミッション、バリュー：組織における中長期的な目標、存在意義、目標達成のための行動基準等を示すもので、組織としての目標や判断基準等を明確にし、組織内に浸透させる手段として利用されています。本ビジョンにおいては、めざす人財像を「ビジョン」、基本的な考え方に基づく使命を「ミッション」、取組の方向性を「バリュー」として使用します。

連携を図りながら進めていく指針となるものです。また、本県の人づくり施策の方向性を関係機関や県民の皆様に御理解いただき、県民一丸となって人財育成に取り組んでいく気運を盛り上げていくためのものでもあります。

3 ビジョンの推進等

本ビジョンは、本県を取り巻く社会経済環境の変化に柔軟に対応するとともに、基本計画の人づくり施策に係る個別計画として、各部署が行う具体的な取組を取りまとめ、体系的に整理するとともに、基本計画のマネジメントサイクルと連動しながら、各部署の連携の下、持続的・継続的に推進していきます。

人財育成は、目先の成果のみにとらわれず、持続的・継続的に取り組んでいく必要があることから、本ビジョンは、計画期間を定めず、社会経済情勢などを見ながら、必要に応じて見直しを行っていくこととします。

II ビジョンの体系

1 めざす人財像（ビジョン）

本県は、四季が明瞭で、それぞれの季節にそれぞれの味わい方、楽しみ方があります。自然や食に恵まれ、個性的な文化が暮らしに根付き、数値では捉えきれない普遍的な価値や豊かさにあふれています。

一方で、就職や進学を機に、多くの若者が県外に流出し、そのまま県外で暮らしています。県外や海外で様々な経験を積み、多様な価値観に触れることは、大変意義のあることであり、県外、海外でないと実現できないこともあります。

県としては、本県で生まれ育った一人でも多くの若者が、一度は県外に出たとしても、羽ばたく先として青森を選び、一回りも二回りも大きくなって、青森に戻ってくることを期待しています。またIターン等で本県と縁があった若者が青森に愛着を持ち、青森を第二のふるさととして選んでくれることを期待しています。仮に戻って来られない、定住できない場合であっても、心のどこかに青森を思う気持ちを持ち続けてほしいと願っています。

また、社会経済状況の変化が激しく、先行きの予測が困難な時代が到来しており、前例や慣習だけでは解決できない課題が次々に生じてくると考えられます。何が起こるかわからない社会、答えがない社会を生き抜いていくためには、多くの県民が、対話を通して答えを見つけていく、答えを創り出していく力を身に付けることが求められます。

そして、普遍的な価値や豊かさを日々の暮らしの中で実感できるような、本県で暮らしたいと思う人が暮らし続けられるような青森県を創っていくためには、時代の変化の波を捉え、青森県を変えていく必要があります。青森県を変えていくのは、他人任せではなく、自分の意思を持って変化への行動を起こしていく人財です。

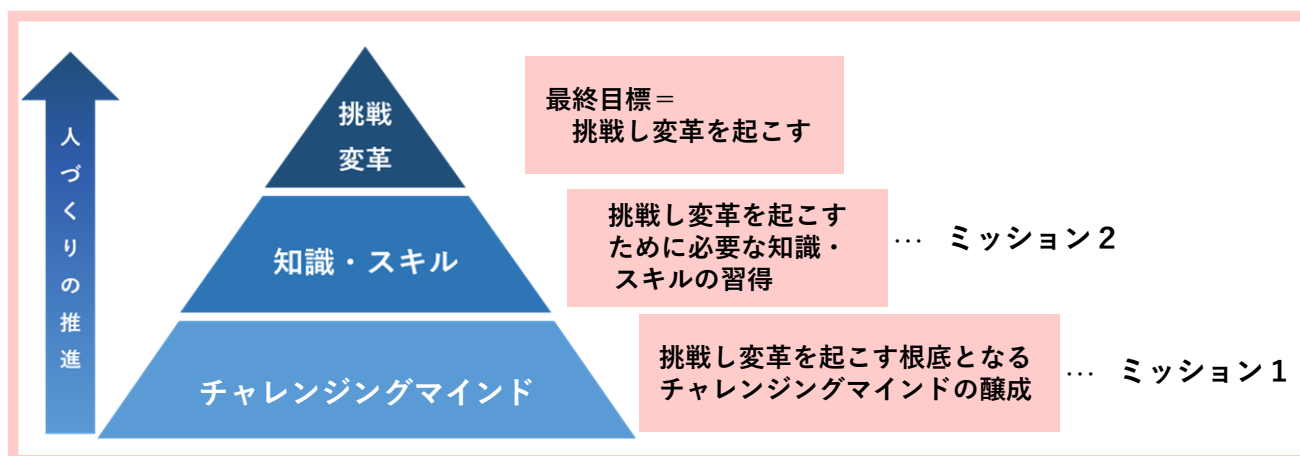
これらを踏まえ、本ビジョンでは、県が人づくり施策によってめざす人財像を次のとおり掲げます。

ふるさとに誇りを持ち、創造力豊かで、
青森新時代を主体的に切り拓くことのできる人財

2 人づくりの基本的な考え方

本ビジョンでは、人づくりの基本的な考え方を下図のフレームワークで表します。

人づくり施策の推進による最終目標は、育成した人財が「挑戦し変革を起こす」ことです。その挑戦の根底となる「チャレンジングマインドの醸成」や、挑戦に必要な「知識・スキルの習得」の2つの取組を使命（ミッション）として掲げ、これらにつながる人づくり施策を重点的に推進していくこととします。



3 重点的に育成の対象とする人財

県では、各分野において必要な人財の育成に係る政策・施策を推進していますが、本ビジョンでは、重点的に次の3つの分野における人財の育成を対象とします。

① 予測困難な時代を
生き抜くこどもたち

② 県民の所得向上を
実現する人財

③ 人口減少を乗り越えるため
の地域づくりの担い手

① 予測困難な時代を生き抜くこどもたち

世の中の変化が激しく、これから何が起こるのか、社会がどう変わっていくのか、予測困難な時代となっています。これから社会に出ていくこどもたちは、こうした時代を生き抜いていく力を身に付けていく必要があります。答えのない社会で答えを見

つけていく、あるいは答えを創り出していく、そしてその答えが正しいのかどうかを検証していくことが求められます。

県では、青森県教育施策の大綱で、「こどもまんなか青森」をめざす教育として位置づけ、本県で生まれ育った全てのこどもたちのウェルビーイング向上のため、こどもをまんやかに据えた教育の実現を目指して、県民が一体となって取組を進めることとしています。

学校、家庭、地域社会が相互に連携し、こどもたちの教育環境の充実を図り、本県の未来を担うこどもたちの健やかな成長を目指していく必要があります。

② 県民の所得向上を実現する人財

本県は、若者の県外流出、少子化、県民の健康づくりなど、長年にわたる多くの課題を抱えています。本県の変革を進め、これらの課題を解決していくために重要なのが、県民の所得向上です。

知識社会と呼ばれる現代においては、知識を有する「人」そのものが生産手段であり、付加価値を創出・向上させる源泉となります。デジタル技術の進化により、私たちの「しごと」や「働き方」に大きな変革の波が押し寄せており、今までハンディとされてきた地理的な制約や専門人財の不足などの本県の課題解決と、新たな成長へのチャンスが生まれてきています。

今こそ、本県産業の強みや地域資源・特性を生かしながら、各分野におけるDXを推進し、新たなしごとづくりや生産性の向上により、付加価値の創出や県民の所得向上を実現する人財を関係機関が連携して育成していく必要があります。

③ 人口減少を乗り越えるための地域づくりの担い手

我が国、そして本県は当分の間人口減少が続きますが、そうした中でも、誰もが住み慣れた場所、希望する場所で安心して快適に暮らせる地域づくりを進めていくことが重要です。地域コミュニティの維持・活性化に取り組み、元気な地域社会を創り上げていくのは、その地域に住む人財であり、市町村、NPO、企業、関係団体など、地域を支える多様な主体と連携しながら、地域づくりを担う人財を育成していく必要があります。

4 使命（ミッション）

上記「2 人づくりの基本的な考え方」に基づき、育成した人財が「挑戦し変革を起こす」ために、使命（ミッション）として、2つの柱を掲げます。

【ミッション1】 “チャレンジングマインド” を持った人づくり

【ミッション2】 知識・スキルを習得し、未来を切り拓く人づくり

【ミッション1】 “チャレンジングマインド” を持った人づくり

これまでの常識や前例だけでは正解にたどり着くことが難しい時代になっています。本県がめざす「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」を創り上げていくためには、私たち県民が、本県の有する価値や魅力を理解し、発信していくこと、そして、自由な発想や新しい手法を積極的に取り入れ、青森大変革に向けた挑戦を始めることが重要です。

失敗を恐れずに前向きに立ち向かうチャレンジングマインドや、異なる文化や価値観を有する人とコミュニケーションをとり、協調しながら、主体的に行動するグローバルマインド、対話を重ねながら答えを探し、合意形成を図っていくことのできるリーダーシップやそれを発揮する上で必要な人間力を持った人財の育成に取り組みます。

【ミッション2】 知識・スキルを習得し、未来を切り拓く人づくり

インターネットやSNSなどにより、誰もが情報を容易に入手できる時代、そして、技術が想像を超えるスピードで進化する時代です。

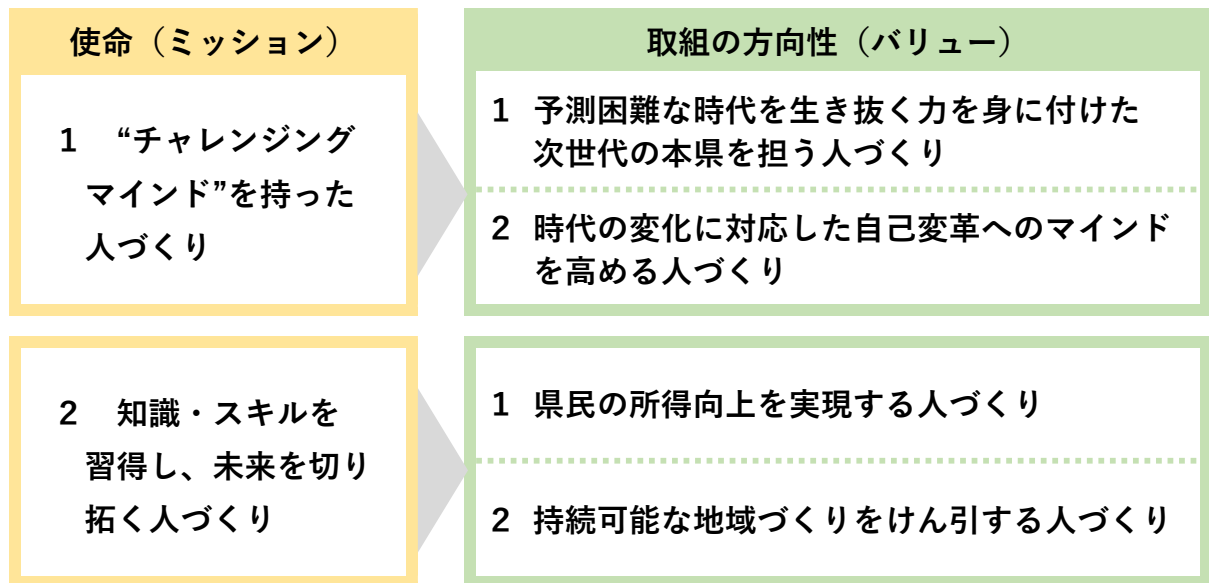
情報の真偽や価値を見極める力はもちろんのこと、技術の進化に対応し、必要な知識・スキルを習得していくことが重要です。

また、人生100年時代の到来を踏まえ、年齢を問わず、学び続けられる環境づくりも欠かせません。

時代の変化に合わせ、意欲的に知識・スキルのアップデートを図り、本県の未来を切り拓く人財の育成に取り組みます。

5 取組の方向性（バリュー）

上記「4 使命（ミッション）」を達成するため、それぞれのミッションに2つの取組の方向性（バリュー）を掲げます。



【ミッション1】 “チャレンジングマインド” を持った人づくり

<バリュー1> 予測困難な時代を生き抜く力を身に付けた次世代の本県を担う人づくり

時代に求められる「生きる力」やふるさとへの愛着と誇りを養うほか、国際的素養や将来を見据えた職業意識等の醸成等に取り組みます。

<バリュー2> 時代の変化に対応した自己変革へのマインドを高める人づくり

地域経済や地域づくりをけん引する人財に必要なリーダーシップ、時代の変化に対応し果敢に挑戦するチャレンジングマインドやグローバルマインドの醸成に取り組みます。

【ミッション2】 知識・スキルを習得し、未来を切り拓く人づくり

<バリュー1> 県民の所得向上を実現する人づくり

本県の所得向上と雇用創出に向けて、DXを推進する人財の育成、観光・輸出・農林水産業等の成長や本県産業の競争力強化に取り組む人財育成のほか、若者や多様な人財が能力を発揮し活躍できる環境づくり等に取り組みます。

<バリュー2> 持続可能な地域づくりをけん引する人づくり

持続可能な地域社会の形成に向けて、地域づくりに取り組む市町村や団体等の人財の育成、地域の歴史や文化芸術を伝承する人財や、多文化共生社会で活躍できる人財の育成に取り組むほか、学び直し等の推進に取り組みます。

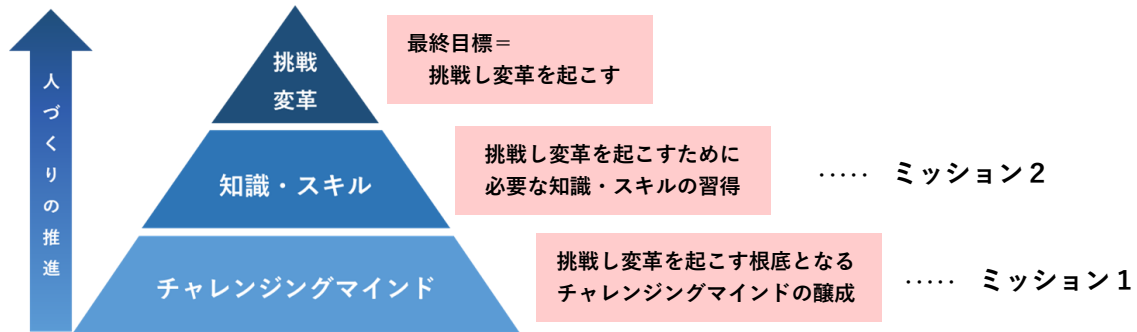
<青森県人づくりビジョンの全体像>

めざす人財像(ビジョン)

ふるさとに誇りを持ち、創造力豊かで、
青森新時代を主体的に切り拓くことのできる人財

人づくりの基本的な考え方

「挑戦し変革を起こす人づくり」
そのために必要な
「チャレンジングマインドの醸成」や「知識・スキルの習得」
につながる人づくりに重点的に取り組む



重点的に育成の対象とする人財

- ① 予測困難な時代を生き抜くこどもたち
- ② 県民の所得向上を実現する人財
- ③ 人口減少を乗り越えるための地域づくりの担い手

使命(ミッション)

- 1 “チャレンジングマインド”を持った人づくり
- 2 知識・スキルを習得し、未来を切り拓く人づくり

取組の方向性(バリュー)

- 1 予測困難な時代を生き抜く力を身に付けた次世代の本県を担う人づくり
- 2 時代の変化に対応した自己変革へのマインドを高める人づくり
- 1 県民の所得向上を実現する人づくり
- 2 持続可能な地域づくりをけん引する人づくり

III 主な取組

ミッション1 “チャレンジングマインド” を持った人づくり

バリュー1 予測困難な時代を生き抜く力を身に付けた次世代の本県を担う人づくり

<主な取組>

① これからの時代に求められる「生きる力」を備えた人財の育成

- ・ 児童生徒の確かな学力を育むため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に取り組みます。
- ・ 情報活用能力など、これからの時代に求められる資質・能力の育成に取り組みます。
- ・ いじめなどの問題行動への対応や読書活動の充実など、豊かな心の育成に取り組みます。
- ・ 青少年の適切なインターネット利用の促進など、青少年の健全育成を推進します。
- ・ 自然体験活動、社会体験活動、文化芸術活動等、こどもの体験活動を推進します。

② ふるさとへの愛着と誇りを持つ人財の育成

- ・ 主体的に課題を発見し、多様な人との協働により課題解決する探究学習の実施や、STEAM教育³等の教科等横断的な学習の充実に取り組みます。
- ・ 保護者を始めとする周囲の大人が、青森の良さをこどもに伝える意識を醸成するなど、郷土を理解し地域への愛着を深める人財の育成に取り組みます。
- ・ 地域活動への参加促進、世代間交流の機会充実などにより、若者の定住意識の醸成に取り組みます。
- ・ 主権者教育、防災教育、消費者教育、ESD⁴等、主体的に社会の形成に参画する教育を推進します。

③ 国際的素養を身に付けたグローバル人財の育成

- ・ デジタル技術も活用しながら外国語教育を充実させるとともに、異文化理解の促進や、国際的素養を身に付けたグローバル人財の育成に取り組みます。

³ STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念のことです。

⁴ ESD：持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）を指し、気候変動等、開発に伴う現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、持続可能な社会の実現をめざし行う学習・教育活動のことです。

④ 将来の生き方や職業意識を備えた人財の育成

- ・ 小・中・高等学校から大学等、そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育の充実に取り組みます。
- ・ 学校、家庭、大学、地元企業等が、それぞれの役割の下で連携したキャリア教育支援の仕組みづくりを推進します。
- ・ 若者の就業意識や起業意識の醸成、職場定着を意識した県内企業への就職支援に取り組みます。
- ・ 産業界との連携による地域の産業・生活を支える担い手（職業人）の育成に取り組みます。

バリュー2 時代の変化に対応した自己変革へのマインドを高める人づくり

<主な取組>

① リーダーシップの育成やエンパワーメント⁵の促進

- ・ 地域経済や地域づくりをけん引する人財に必要なリーダーシップの育成に取り組みます。
- ・ 自らの意識と能力を高めながら主体的に活躍するエンパワーメントの促進を図ります。

② チャレンジングマインドの醸成

- ・ 時代の流れや世界情勢に的確に対応し、自由な発想や新しい手法を積極的に取れ入れ、進化に向けた挑戦を始めるマインドの醸成に取り組みます。
- ・ 育成した人財のネットワーク化に取り組み、更なる気運の醸成を図ります。

③ グローバルマインドの醸成

- ・ 異文化に対する理解や、異なる価値観を有する人との関係を構築する協調性、柔軟性、主体性、積極性、チャレンジ精神等を有する、グローバルマインドの醸成に取り組みます。
- ・ 育成したグローバル人財のネットワーク化に取り組み、更なる気運の醸成を図ります。

5 エンパワーメント：自ら主体的に行動することによって状況を変える力をつけることです。

バリュー1 県民の所得向上を実現する人づくり

<主な取組>

① **あらゆる産業におけるDXを推進する人財の育成**

- ・ AI等の先端技術の活用に向けたデジタル人財を育成します。
- ・ 県内でデジタル技術やビッグデータを活用できる人財の確保・育成に取り組みます。
- ・ スマート農林水産業の普及拡大に向けた人財育成に取り組みます。
- ・ 観光分野や輸出関連の生産性向上と収益力強化に向けてDXを推進する人財を育成します。

② **観光産業の持続可能な成長に向けた人財の育成**

- ・ 観光地域全体をマネジメントできる中核人財を育成します。
- ・ 青森の観光に従事することで、従事者個人のスキルアップ・キャリアアップが得られる魅力的な働く環境づくりを促進します。
- ・ 副業や兼業、高齢者や障がい者など、誰もが様々な形で観光に携わり、収入を得ることができる働く環境づくりを推進します。

③ **県産品の輸出・海外ビジネス促進に向けた人財の育成**

- ・ ブランド価値の高い産品や海外ニーズ・規制等に対応した戦略的な商品づくりに取り組む人財を育成します。
- ・ 海外ニーズに応じた県産品の販路開拓や取引の維持・拡大に取り組む人財を育成します。
- ・ 県内企業による輸出や業務提携等の海外展開に向けた人財育成に取り組みます。

④ **本県産業の競争力を支える人財の育成**

- ・ デジタル技術を活用した販売力強化に取り組む人財を育成します。
- ・ 知的財産の活用による新商品開発や新事業創出に取り組む人財を育成します。
- ・ GXの推進、エネルギーコストの削減、効果的なアウトソーシングによる業務効率化や経営資源の集中等の促進に取り組む人財を育成します。
- ・ アップサイクル⁶製品加工産業に参入する人財を育成します。
- ・ 地域課題の解決に向けた研究開発やビジネス化に取り組む人財を育成します。

6 アップサイクル：製造工程等で発生した未利用資源に新たに価値を付け加え、新たな製品に生まれ変わらせる方法のことです。

- ・ 後継者の発掘やマッチング等により、円滑な事業承継ができる人財を育成します。

⑤ 農林水産業の持続的な発展を支える人財の育成

- ・ 将来の担い手となる新規就業者や多様な担い手などの確保・育成・定着に取り組めます。
- ・ 国内外の情勢に的確に対応できる多様な人財を育成します。
- ・ 高い生産力と経営力を備えた経営体の育成・強化を進めるほか、第三者継承など円滑な経営継承に取り組めます。
- ・ 各種研修等を通じて新規参入の促進や誰もが農林水産業で働くことができる環境づくりに取り組めます。

⑥ 若者が地元で働ける環境づくり

- ・ 県内企業における大卒者・高卒者等の採用拡大を促進します。
- ・ 県内企業と求職者のマッチングに取り組むほか、魅力ある職場環境づくりなど多様な手法により、県内企業の人財確保を促進します。
- ・ 進学や就職を契機とした転出者とのネットワーク構築など、ターゲットや段階に応じて、本県とつながり続ける仕組みづくりや情報発信等を通じて、U I J ターン就職を促進するとともに、移住者の定着支援に取り組めます。

⑦ 多様な人財が能力を発揮し活躍できる労働環境づくり

- ・ 年齢、性別、障がいの有無、国籍を問わず多様な人財が、それぞれの希望や状況に応じて、能力を発揮し活躍できる環境づくりを推進します。
- ・ ワーク・ライフ・バランスの調和を図る働き方改革を推進します。
- ・ 県内で働く人のスキルアップや企業の生産性向上などを図るため、デジタルスキルの習得を始めとするリスキリング⁷を促進します。

⑧ チャレンジングな創業・起業に取り組む人財の育成

- ・ 創業支援拠点を活用した創業・起業に取り組む人財を育成します。
- ・ 創業・起業後における経営の安定化や事業拡大に取り組む人財を育成します。
- ・ スタートアップなど、新たなビジネスに取り組む起業家の育成や創業機運の醸成に取り組めます。

⁷ リスキリング：新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させることです。

<主な取組>

① 地域経済と地域づくりをけん引する人財の育成

- ・ 地域資源を生かした地域づくりの推進及び地域コミュニティの維持・活性化に取り組む人財を育成します。
- ・ 地域づくりに取り組む市町村や団体等の人財を育成します。
- ・ 中間支援組織⁸を担う人財を育成します。
- ・ 社会貢献活動やNPO活動などに取り組む人財を育成します。
- ・ 地域経済や地域づくりをけん引するリーダーの育成や国内外で活躍する人財とのネットワーク化に取り組みます。

② 持続可能な農山漁村地域をつくる人財の育成

- ・ 農山漁村の活性化を担う人財育成、食文化や伝統行事などの文化の継承に取り組めます。
- ・ 地域資源を活用した農山漁村の賑わい創出に取り組む人財を育成します。

③ 女性リーダー人財の育成

- ・ 地域社会のリーダーとして活躍する女性人財の育成に取り組めます。
- ・ 自らの意識と能力を高め主体的に活躍する女性人財の育成に取り組めます。

④ 歴史や文化芸術に携わり伝承する人財の育成

- ・ 地域の祭りや伝統芸能などの鑑賞や体験機会の充実に取り組み、継承を促進する人財を育成します。
- ・ 県民の芸術鑑賞機会や文化活動の発表機会を提供します。
- ・ 幼少期からの文化芸術活動への参加を促進するとともに、文化芸術に携わる人財の育成に取り組めます。
- ・ 県民、特に子どもたちがふるさと青森の歴史や自然、文化への理解を深め、郷土に誇りを持つことができる取組を推進します。

⑤ 多文化共生社会で活躍できる人財の育成

- ・ 在留外国人に対する日本語教育の推進に取り組めます。
- ・ 在留外国人に対する相談対応の充実に取り組めます。
- ・ 地域住民と在留外国人の相互理解に向けた交流促進に取り組めます。
- ・ 各産業分野における外国人の受入環境づくりを推進します。

⁸ 中間支援組織：行政と地域の間立って、地域における様々な団体等の活動や団体間の連携を支援する組織のことです。

- ・ グローバルな視野を持ち、国内外で活躍する人財の育成に取り組みます。

⑥ **人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進**

- ・ 社会人の学び直しやリカレント教育⁹の推進に取り組みます。
- ・ 社会教育士¹⁰等の社会教育を進める人財の育成、県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進、性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様な主体の生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進に取り組みます。

9 リカレント教育：学校教育から一旦離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための社会人の学びのことです。

10 社会教育士：令和2年度から始まった、学びを通じて、人づくり・つながりづくり・地域づくりに中核的な役割を果たす専門人材の称号のことです。

<主な取組の体系>

【ミッション1】 “チャレンジングマインド” を持った人づくり

<バリュー1> 予測困難な時代を生き抜く力を身に付けた次世代の本県を担う人づくり

主な取組	① これからの時代に求められる「生きる力」を備えた人財の育成
	② ふるさとへの愛着と誇りを持つ人財の育成
	③ 国際的素養を身に付けたグローバル人財の育成
	④ 将来の生き方や職業意識を備えた人財の育成

<バリュー2> 時代の変化に対応した自己変革へのマインドを高める人づくり

主な取組	① リーダーシップの育成やエンパワーメントの促進
	② チャレンジングマインドの醸成
	③ グローバルマインドの醸成

【ミッション2】 知識・スキルを習得し、未来を切り拓く人づくり

<バリュー1> 県民の所得向上を実現する人づくり

主な取組	① あらゆる産業におけるDXを推進する人財の育成
	② 観光産業の持続可能な成長に向けた人財の育成
	③ 県産品の輸出・海外ビジネス促進に向けた人財の育成
	④ 本県産業の競争力を支える人財の育成
	⑤ 農林水産業の持続的な発展を支える人財の育成
	⑥ 若者が地元で働ける環境づくり
	⑦ 多様な人財が能力を発揮し活躍できる労働環境づくり
	⑧ チャレンジングな創業・起業に取り組む人財の育成

<バリュー2> 持続可能な地域づくりをけん引する人づくり

主な取組	① 地域経済と地域づくりをけん引する人財の育成
	② 持続可能な農山漁村地域をつくる人財の育成
	③ 女性リーダー人財の育成
	④ 歴史や文化芸術に携わり伝承する人財の育成
	⑤ 多文化共生社会で活躍できる人財の育成
	⑥ 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進